

この薬の名前は	商品名： ペグイントロン皮下注用 (150 μg/0.5mL 用)	・商品名：Pegintron Sterile Powder for Injection ・一般名：ペグインターフェロン アルファ-2b (遺伝子組換え) ・適用区分：
この薬の働きは	・レボトルと併用しC型肝炎ウイルスが増えるのを抑え、また、体がウイルスを排除しようとするのを助け、肝臓の機能を改善させます。	
注射のまえに確認すること	・次のような人は注射のまえに主治医に申し出てください： 以前に薬を飲んで、または注射を受けて、発しんやかゆみなどが出たことがある。 小柴胡湯を飲んでいる。自己免疫性肝炎。アレルギー性素因がある。 心疾患又はその既往歴がある。肝臓や腎臓の機能がかなり悪い。高血圧症。糖尿病。 精神神経の病気又はその既往歴がある。自己免疫疾患。 甲状腺機能の異常があるかまたはその既往がある。痙攣発作のある人。 ・この注射を行う期間：48週間 ・注射の方法：通常、週1回、皮下注射します。 ・その他：授乳中、妊娠または妊娠の可能性のある方、これから投与中及び投与終了後6ヶ月間にご本人またはパートナーの方が妊娠する可能性のある方は申し出てください。	
副作用について	・薬は人によって、目的の効果以外に、望ましくない作用が出る場合もあります。 <u>◎次のような症状に気づいたら、すぐに主治医や薬剤師、看護師に申し出てください：</u> <u><間質性肺炎>発熱、から咳、呼吸困難、頭痛、全身倦怠感</u> <u><自殺企図>自殺を企てる</u> <u><肺線維症>呼吸困難（特に体動時）、から咳、発熱、頭痛、全身倦怠感</u> <u><肺水腫>体動時の動悸、呼吸困難、起坐呼吸（横になるより坐っている時に呼吸が楽になる）、吐き気、嘔吐、頻脈、ピンク色の泡沫状の痰</u> <u><抑うつ>憂うつとなり、意欲が低下した状態（気分が憂うつで、やる気がしない、全身倦怠感、食欲不振、不眠）</u> <u><貧血>階段や坂を上る時の動悸、息ぎれ、頭痛、頭重、めまい、耳鳴り、全身倦怠感など</u> <u><無顆粒球症、白血球減少、顆粒球減少>のどの痛み、頭痛、筋肉痛、重病感、寒気やふるえを伴って高熱が出る、肺炎や肺血症を合併し易い</u> <u><血小板減少>鼻血、歯ぐきの出血、月経出血の増加、四肢の皮下出血（直径1mm前後の出血点と直径3-5mm前後の出血斑が混在）など</u> <u><再生不良性貧血>貧血症状、出血傾向（鼻血、歯ぐきなどの出血、紫斑）、発熱</u> <u><汎血球減少>全身倦怠感、頭重、頭痛、めまい、耳鳴り、階段や坂を上る時の息切れ、動悸、鼻血、歯ぐきの出血、皮下出血など</u> <u><意識障害>意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、<痙攣>筋肉が発作的に収縮する状態、<見当識障害>場所、時間、名前などが判らない、<せん妄>錯覚や幻覚を伴う軽い意識障害、<錯乱>考えがまとまらない、時間、場所などが判らない、幻覚、<幻覚>現実には存在しない物が見えたり、ない音がきこえる、<妄想>根拠のない主観的な思い込み、<昏迷>応答がほとんどなく、再三揺すられたり、大声で話しかけられたり、つねられたり、針で刺されたりなどの刺激を与えられたときだけ反応する意識状態、 <u><攻撃的行動>自分又は他人を攻撃し傷つける行動をとる、<統合失調症様症状>、 <u><痴呆様症状（特に高齢者）>記憶、思考、見当識、理解、計算、学習能力、言語、判断が障害され、日常生活に支障を来す状態、<興奮>物事に集中できない、落ち着きがなくなる、手足のふるえ、不眠 <失神>気を失う、<躁状態>上機嫌、興奮しやすい、活動的になる</u> <u><難聴>声や音がきこえない、</u> <u><自己免疫現象>[甲状腺機能異常] 機能亢進症・機能低下症がある</u> ・亢進症では、発汗、体重減少、頻脈、振戦、不眠、甲状腺の腫れ、眼球突出を認める ・低下症では倦怠感、無気力、動作や喋り方がおそい、寒がり、顔全体のむくみ [肝炎]食欲不振、全身倦怠感、吐き気、嘔吐、黄疸 [溶血性貧血]貧血症状（疲れ易い、全身倦怠感、動悸、息切れ、頭痛、頭重、蒼白、耳鳴、めまい、食欲不振）、黄疸、発熱、赤褐色尿、[突発性血小板減少性紫斑病] [潰瘍性大腸炎]発熱、腹痛、下痢、粘血便、[関節リウマチ]体重減少、易疲労感、発熱、腫 </u></u>	

* ここには、知っておいていただきたい主な事柄だけが書いてあります。更にくわしく知りたい時は、主治医や薬剤師、看護師におたずねください。

れ、運動障害などを伴う対称性多発性の関節炎、朝の手のこわばりなど
 [乾癬]皮膚の乾燥、脱落、かゆみ
 [糖尿病の増悪または発症]口渇、多飲、多尿、易疲労感、体重減少など
 <糖尿病>口渇、多飲、多尿、易疲労感、体重減少など
 <重篤な肝障害>全身倦怠感、食欲不振、吐き気、嘔吐、黄疸など
 <急性腎不全等の重篤な腎障害>急性腎不全では尿量減少、むくみ、頭痛、食欲低下、のどの渇き、慢性腎不全では全身倦怠、皮膚の乾燥、食欲低下、むくみ、高血圧、心不全、貧血、筋肉のけいれん、味覚異常、のどの渇き
 <ショック>顔面蒼白、冷汗、立ちくらみ、めまい、息切れ、意識消失など
 <心筋症>胸痛、動悸、息切れなど、 <心不全>心臓の機能低下、左心不全の時には息切れ、咳、息苦しさ、起坐呼吸（起きている時が横になっているより楽である）右心不全の時には全身のむくみ、胸水、腹水、静脈の怒張、 <心筋梗塞>急激な前胸部の圧迫感、狭心痛、冷汗、死の恐怖感など、 <狭心症>胸の痛み、圧迫感、狭窄感、冷汗
 <不整脈>動悸、胸痛、胸部不快感、めまい、失神
 <消化管出血（下血、血便等）>、 <消化性潰瘍、小腸潰瘍>みぞおちの痛みや圧痛、胸やけ、げっぷ、吐き気、嘔吐、吐血、下血、 <虚血性大腸炎>急激な腹痛、下血、発熱、吐き気、嘔吐、 <呼吸困難>呼吸をしにくい、 <喀痰増加>
 <脳出血>頭痛、吐き気、嘔吐、意識障害、片麻痺など
 <脳梗塞>突然認める片側の手足や顔の麻痺、しびれ、頭痛、言語障害、視力障害、意識障害（昏睡）、 <敗血症>寒気、ふるえを伴う急激な高熱、頻脈、呼吸困難、筋肉痛、関節痛、血圧下降など、 <網膜症>視力低下
 <皮膚粘膜眼（Stevens-Johnson）症候群>発熱、食欲不振、全身倦怠感、中央に浮腫を伴った紅斑（赤い発疹）、眼球結膜の充血、口腔粘膜などの痛みを伴った粘膜疹
 <中毒性表皮壊死症（Lyell 症候群）>広範囲に紅斑、水疱を生じ、水疱は破れ易く（ニコルスキー現象）、びらん（赤肌）となり、痛みを伴う。発熱、食欲不振、全身倦怠感、関節痛、時に意識障害
 <横紋筋融解症>手足の筋肉の痛み、こわばり、しびれ、脱力感、全身倦怠感、赤褐色尿
 <睥炎>激しい上腹部の痛み、または腰背部の痛み、発熱、吐き気、嘔吐、食欲低下

◆次のような症状に気づいたら、早めに主治医や薬剤師、看護師に相談してください：

<発熱>、 <倦怠感>、 <悪寒>寒気、 <インフルエンザ様症状>
 <頭痛>、 <不眠>、 <めまい>、 <易刺激性>、 <気分不快> <耳鳴>
 <注意力障害>注意を集中することが出来ない、 <膀胱炎>、 <頻尿>
 <胸痛>、 <血圧上昇>頭痛、頭重（頭が重い）、めまい、肩こり、動悸、 <潮紅>ほてり
 <頻脈>脈拍数の増加（100/分以上）（動悸、胸部不快感などを伴う）
 <浮腫（四肢・顔面）>むくみ
 <食欲不振>、 <悪心・嘔吐>、 <腹痛>、 <胃不快感>、 <下痢>、 <口渇>
 <口内炎>口の中の粘膜が荒れ、赤く中が白い小さな潰瘍ができて痛む、 <口唇炎>唇が腫れたり赤くなったりする <消化不良>、 <歯髄炎>、 <歯周・歯肉炎>歯ぐきの腫れ、出血
 <歯痛>、 <消化不良>、 <舌炎>舌があれ、舌がしみる、 <腹部不快感>
 <腹部膨満感>腹部の膨満感（張る感じ）、 <便秘>、
 <脱毛>、 <そう痒>かゆみ、 <発疹>皮膚の吹出もの、 <白癬>白癬菌による皮膚感染症、足が最も多い（水虫）、足の裏が厚くなってはげる、かゆみを伴う、 <紅斑>皮膚の赤い発疹
 <湿疹>境界不鮮明な地図状で、かゆみを伴う発疹、 <皮膚炎>皮膚表面の炎症（水疱、境界不明の発赤、浮腫、出血、かさぶたなどでかゆみを伴う）、 <皮膚乾燥>
 <関節痛>、 <筋肉痛>、 <感覚異常>知覚の異常（ピリピリ感、ムズムズ感など）、
 <筋痙直>、 <四肢痛>、 <背部・腰部痛>
 <上気道炎>のどが赤く腫れる、 <咳嗽>、 <鼻出血>、 <鼻漏>鼻みず、
 <網膜出血>視力低下、 <網膜滲出物>、 <角膜炎>眼の異物感、まぶしい、流涙（なみだが出る）、 <結膜炎>眼のかゆみ、痛み、めやに、まぶしい、 <眼痛>、
 <霧視>視力が障害されて物の形が見えにくかったり、全く見えない状態、
 <眼精疲労>眼を使った後の疲労感、眼痛、頭痛、肩こり

* ここには、知っておいていただきたい主な事柄だけが書いてあります。更にくわしく知りたい時は、主治医や薬剤師、看護師におたずねください。

くすりのしおり

620002420

2005年3月改訂

	<p>〈注射部反応（紅斑，そう痒，膨脹，発疹，疼痛，炎症，硬結，出血，皮膚炎，熱感）〉 〈感染症〉、 〈味覚障害〉味覚鈍麻、消失、異味症（食物本来の味と異った味がする） 〈体重減少〉、 〈疲労〉、 〈多汗〉汗の増加、</p> <p>◇上記のほかに次のような副作用が出ることがあります</p> <p>・他にもからだの異常を感じたら，主治医や薬剤師、看護師に相談してください。</p>								
<p>注射のあとに 注意すること</p>	<p>・注射のあと、もまないでください。 《ご家族の方へ》 患者さんの日常生活に注意して「表情に変化がなくなった、言葉が少なくなった、気分がふさぎ込む等」いつもと違う言動や症状に気づいた場合はくすりの副作用の可能性もありますので、すぐに主治医に申し出てください。 なお、これらの症状は誰にでも起こるといものではありません。</p>								
<p>その他</p>	<p>・</p>								
<p>説明日</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">年</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">月</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">日</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td style="text-align: center;">説明者</td> </tr> </table>	年	月	日					説明者
年	月	日							
			説明者						

* ここには，知っておいていただきたい主な事柄だけが書いてあります。更にくわしく知りたい時は，主治医や薬剤師、看護師におたずねください。